

ほうにも問い合わせをしてみましたけれども、彼女の持っている情報については私たちがいま持っている情報と基本的に変わっておりませんので、いまの段階でははっきりしたことは申し上げられません。

質問 厚労省として独自の情報入手というのは全くできないということでもいいんですか？  
向こうの状況はベトナム政府あるいは WHO に任せているということですか？

T えー、まあ、いままでも、えー、現地政府の要請や WHO からの要請を受けてインドネシアあるいはベトナム、タイといったところには感染症研究所の職員を派遣したりしてきておりますので、そういったような流れも踏まえて、場合によったらこちらの独自の判断で、ということもあるかもしれないけれども、現地の情報をとるいろんな手立てを考えている、というふうにお考えください。

質問 いまベトナムにどなたか派遣されたりとかされていないんですか？

T いまはしていません。

質問 いましないでいつするんですか？

T ……

質問 明日とか明後日とか、機を見て今後していくということなんですか？

T ……まあ、WHO のほうでも人が入って、それは相当の専門家が何人も入って調査をしておりますので、えー、まあ、日本からまた別の人たちを派遣するか、また別の流れで人を派遣するかということについてはそれは検討は必要だとは思いますがけれども、いまの段階では WHO の情報に基づいて行動していこうというふうに考えております。

質問 いまの成田の検疫体制はどういうふうになっているんですか。何か変えたりしたとか？

T 成田の検疫体制はですね、先月の 6 月 10 日に検疫感染症に H5N1 のインフルエンザを政令により検疫感染症として指定をしておりますので、一定の症状、一定の条件を満たす方については H5 の検査を行なう、と、これを義務付けるということになっておりますので、先月の 6 月 10 日からは、具体的に言いますと 38 度以上の熱がある方で、えー、現地で鳥、病鳥、死鳥に、2 メートル以内に近づいたという方については H5 の検査を義務付けております。ただ、その、今後はですね、まだヒト-ヒト感染が起こったかどうかは確定されていませんけれども、ヒト-ヒト感染が起こっているという可能性も考えなければいけないので、えー、患者さんが出ているような地域に滞在したということも含めて帰国者に、その条件も含めて……H5 の検査、PCR 検査を義務付けるということをいま検討しております。

質問 いま検討中?

T はい。

質問 すると明日からそれをさらにきつい検査にしていくということはできないんですか?

T ……え、それはいま検討中です。ただその検討に時間をかける、いたずらに時間をかけるつもりはありません。なるべく早く終わらせたい(?)、というふうに考えております。

質問 時間がかからない可能性、すぐに出る可能性もあるんですか?

T ええ、ベトナムの状況などもよく踏まえて対応したいと思っております。

質問 ただ、6月10日から一定の症状が見られた方を引っ掛けることをやられていたということですが、今回はそこを通り過ぎてしまいましたよね。全くこの検査体制が機能していなかったということにもなりますよね?

T ええ。結果的にみると、えー、すり抜けたということになりますよね。あの、サーモグラフィーも導入しまして、発熱の申告がなくても熱の高い方はサーモグラフィーで検知できるように、

質問 それはいつ導入されたんですか?

T これはもうずっと、SARSのころから導入して使用しています。

質問 いま現在も?

T いまもやっています。

質問 でもこの方、成田への到着時にはもう発熱があったんですよね? なぜわからなかったんですか?

T はい、ご本人はそのようにおっしゃってます。

質問 それはスルーしてしまったということですか?

質問 そうすると、いま検討中だとおっしゃったんですけれども、今日とか明日とかその間にもこれをスルーしてどんどん入ってくる可能性があるわけですよね? であればなおさらのこと、もうすぐにでも検査体制を強化すべきことなんじゃないですか? 「検討します」とか言っている場合じゃないんじゃないですか?

T はい。まあ検査体制の強化ということについても至急結論を出して実行に移さないといけないと思っておりますけれども、えー、その、いずれにしてもその、申告をしていただかないと……

質問 申告がありきなんですか？

T 申告がないと難しい、という面もありますので。

質問 それは個人の申告ということですか？

T はい。

質問 はあ。ではこの方は申告もしなかったし、もしかしたら、熱も37度8分とおっしゃいましたがスルーしてしまったということですか？

T はい。

質問 じゃあやっぱりこれはどんどんスルーして入ってくる可能性がありますね。

T まあ、ご指摘のことは、あの、限界があると思います。あの、少なくともその、症状がない、えー、たとえば感染はしているけれども発症はしていないという方は熱もありませんし、本人も自覚しておりませんので、そういう方については、あの、検疫の段階で引っ掛けるということは難しく、検疫で水際対策をしっかりやっていくということについては厚生労働省としても万全を期したいということで準備をし、いま実施をしておりますけれども、やはりそういった検疫の限界ということについても、ある、ということをご理解をいただきたいというふうに考えています。

質問 いま注意喚起や健康診断を受けてくださいといった推奨、勧奨をするのはその50才の立川在住の方が実際に乗った航空機やリムジンバスということなんですけれども、いまお話しになったように水際対策ができていないわけじゃないですか、そうするとどのくらいまで遡って健康診断を受けてくださいといった推奨をするのですか？ その便だけですか？

T いや、

質問 その当日にもベトナム便は何便も来ているわけじゃないですか。どうされるんですか？

T えー、……ベトナムの状況はですね、3日前くらいから原因不明の患者さんが増えてきている、というような状況がありましたので、3日前まで遡って、ベトナムから来ている、ハノイ発あるいはホーチミン発という航空機については搭乗者名簿をいまリストアップしてまして、えー、それによって把握ができた段階で同じような考え方で受診勧奨をしていく、搭乗者には受診勧奨をしていくということを今朝からする予定です。

質問 それはどのくらいで完了する予定ですか？

T ……

質問 どのくらいでリストが集まってどれくらいからそれをスタートできるようになりますか？

T リストはまだ全部は集まっておりませんので、えー、航空会社といま話をしておりますけれども、今日のお昼ぐらいまでには、あのう、搭乗便、搭乗者についてのリストが入手できる、というふうに聞いておりますので、それからあの、至急、関係の自治体のほうに情報を流して、今日中にはなんとかご本人に当たれるように、ということで自治体のほうには指示したいというふうに思っております。

質問 直行便だけではないですよね？ ベトナムからどこかを經由して日本に入ってくる方ももちろんいらっしゃると思うんですよ。その部分はどうされるんですか？

T ……えー、そこはですね、

質問 どのように確認するのですか？

T うー、そこも確認には限界があると思いますので、えー、国民の皆さんには、ご本人はあの、ベトナム発で、経由地はともかく、ベトナムに、3日以内にベトナムから帰ってきたということはご本人がご存知だと思いますので、えー、この3日以内にベトナムから日本に入国された、ということについては、えー……何らかの症状、まあ具体的に言うと発熱ですね、発熱が起きた場合については速やかに医療機関を受診していただくように国民の皆さんにはお願いしたいと思っておりますし、えー、報道のお力もそこはお借りしたいというように考えています。

質問 それは、同じ飛行機とリムジンに乗った人に対しても同じように呼びかけるだけなんですか？ 報道を聞いて？

T えーと、本人が特定できるような、あの、方はですね、それはあの報道にお願いするだけではなくて、私たちも、行政のほうも把握すべく最大に努力しますが、それでもなお漏れるという方がおられますので、そこは報道のほうでもよろしくお願いしたいということでもあります。

質問 ちなみに、その特定できる人というのはどういう人なんですか？

T ……

質問 どこかに名簿があるんですか？

T リムジンバスについては、えー、個人の旅行者についてはわかりません。えー、企画されたツアーで搭乗された方については会社のほうを經由して把握することが可能です。

幹事社 ではこのへんで。

T はい。あの、まあ時間がちょっと延びていますが、どうしてもということがあればお受けしたいと考えますけれども。

質問 飛行機に同乗した人に関しても航空会社を通じて名簿などが手に入るんですか？

T はい、航空会社を通じて、ですし、まあ一定のパッケージツアーに参加された方については旅行会社のほうを通じて。

質問 でも、明日の朝になったらそういう人たちが当然電車に乗って移動するわけで、そのときに移る可能性はないんですか？

T ……えー、これはまだ、えー、確定的なことは言えませんが、まだ潜伏期で発症していないという方については非常に感染力は少ないと思っていますので、昨日のリムジンバス、いま潜伏期間が2日から7日ぐらいというふう新型インフルエンザは言われておりますので、まあその、潜伏期間にまだある方についてはそれほど大きな感染力を持っているということではない、というふうな専門家の意見ですので、えー、今朝から素早く対応すれば十分対応可能であるというふうに考えていますけれども。

幹事社 ではこんなところで終わりたいと思います。

T あの、またいろんな情報が入りましたら、ぜひ会見をさせていただきたいと思いますので、また幹事社のほうともよく相談をいたしていただいて、と思います。よろしくお願いします。

(R1-1 終了)

## 【2回目会見】

幹事社 よろしく申し上げます。

T それではあの、発表をさせていただきます。

結核感染情報課の塚原でございます。

えー、申し訳ないんですが、紙を準備できておりませんので、後ほどいま作成したもののについてはクラブのほうに投げ込みさせていただきますが、口頭でもう一度説明させていただきます。

えー、まず、入院患者さんの状況ですが、国立国際医療センターのほうにいま入院加療中ですがけれども、第一感染症病床のほうに入院をしています。タミフル等でいま加療中ということで、容態については昨日よりも少し……いというような情報があります。

質問 重い？

T はい。だからまあ、予断を許さないということですね。

それから 2 番目ですが、入院患者さんの感染経路に関する情報です。これは会社等を通じて、会社から聞いたことであります。結論的に言うとまだ感染経路については特定ができていません。できていませんが、情報をいくつか申し上げますと、現地の視察をしたのは繊維工場、現地の繊維工場を視察されています。えー、近くに鳥に近づいた、というような、養鶏場とか、鳥がいる環境に近づいたという情報はいまありません。

それから、もう一つ重要な情報がありまして、同行したベトナム人社員、の中に発熱、咳があって、いま熱帯病病院に入院している患者さんがいるという情報があります。ただしこの方が H5N1 の検査結果が、いま検査中のようですがけれども、その検査結果についてはまだ確定していません。まあそういう状況の中でありませうけれども、えー、いまのところそういう情報があるということに留めておきたいと思います。

次に同行者の情報ですが、これも会社から都が聞き取ったものを報告をいただいたものです。2 名同行しています。1 名は 30 代女性、1 名が 40 代男性です。もう一度言います。2 名同行者がいまして、30 代の女性と 40 代の男性です。このうち 30 代の女性については現時点で症状はありません。30 代の女性については現時点で症状はありません。40 代の男性については昨夜から発熱があります。で、都内の病院、これ、病院のどこに入院しているかはまだいまのところ不明ですが、把握しておりませんが、都内の病院に入院をしているという情報があります。発熱以上の状況についてはまだ把握できておりません。

次に四つめ、パッセンジャーリストのここ 3 日以内にベトナムから帰国した人を読み上げます (?) ということですが、検疫所のほうからサクジ (昨時?)、1 時間前ですがけれども、トウゴ (?) を行ないまして、日本人の旅行客は約 800 人、と。ただしベトナム航空の搭乗者リストについてはまだ未入手、ということになっています。入手すべくいま鋭意努力をしているという状況です。

次に、この最初に発症した H5N1 に罹った、失礼しました、2 日の、本日ですね、午前 4 時の段階で、この患者さんについては H5N1 が確定をしています。H5N1 が確定、

と。患者さんの状況で言い忘れました。

で、この方と最初に入院された都内の病院で同室になっていた方、3名おるといふうに先ほどの会見で申し上げましたけれども、この方についてはインフルエンザ様の症状はいまのところありません。

それからこの病院での患者さんに、えー、の、診察、診療に当たった医師、看護師等の関係者、関係者についても健康監視下にありますけれども、いまのところインフルエンザ様の症状はありません。

以上がその後判明した事実関係であります。以上です。

幹事社 いくつか質問させていただきます。患者さんの状況ですが、予断を許さないという状況ですか？ 重くなっている、熱が上がっているとかそういうことはありますか？

T 詳細は報告されていませんが、容体は昨晚より悪化しているという報告を受けております。

幹事社 タミフルもなかなか効かないようだと判断してよろしいですか？

T そこはあの、うー、わかりません。

幹事社 タミフルの効き具合ですが、投与しはじめてすぐ効くものではないんですか？ わりと時間が経ってから効くものなんですか？

T えーっとこれはですね、一般のインフルエンザ、ふつうのインフルエンザでしたら 48 時間、発症後 48 時間以内に飲めば、えー、症状がかなり軽減する、楽になる、ということが一般的に言われておりますけれども、えー、この H5N1 についてはまだそのような、インドネシアで、あるいはベトナムでの症例で使われておりますけれども、基本的には 48 時間以上経ったかなり重症の方に投与されている実績しかありませんので、どのくらい効くかということについてはいまのところ、えー、わかりません。

幹事社 パッセンジャーリスト 800 名分、日本人に関してあった、ということでしたが、このリストの 800 名に対して何かあるのでしょうか？

T はい。800 名のうち 9 時の段階ですでに 600 名、約 600 名の方には直接ご本人もしくはご本人の家族に連絡がとれていまして、注意喚起をしております。ただまだ 200 名についてはまだ本人・家族に連絡がとれておりませんので、なるべく早く連絡する、ということをやいま東京都のほうで対応しております。

幹事社 かなり素早い対応だと思いますが、600 名に対してどうやって連絡をされたのですか？

T これは、600 名分についてはですね、旅行社のほうからの情報が同時にありましたので、

旅行社、パッケージツアーで旅行に行っている方は旅行会社のほうで住所までわかっておりますので、迅速な対応ができたということですが、個人的に行っている方についてはなかなか特定するのに時間がかかっているということで、まだ連絡がとれていないという状況です。

幹事社 同行者は30代女性と40代男性ということですが、30代女性は症状がまだないということですが、この方は何か検査などはされているんですか？

T この方については、いま、健康監視下にあるというふうに我々は理解しておりますが、何らかの症状、具体的に言うと熱ですね、熱が出てきた段階で速やかにH5N1の検査をするという方針です。

幹事社 あと、熱が出ている方、この方はもう入院されているんですか？

T はい。

幹事社 この方の住所、成田からどちらに帰られたんでしょうか？

T えーと、この方がどちらにお住まいかはまだ確認しておりません。

幹事社 わかりました。他にあれば。

質問 30代、40代の同行者ですが、この二人はどこの方ですか？

T これもまだ情報としては確認しておりません。

質問 30代の女性が健康監視下にあるということですが、この方に他には何もしていないんでしょうか。注意喚起として気をつけてくださいということだけに留まり、隔離みたいなことはされていないんですか？

T えーと、昨日の段階で連絡をとっていただきまして、今日は出社を見合わせていただいております。

質問 なるほど、出社見合わせ。はい。

質問 50代の男性はトリーヒト感染ではなくヒトーヒト感染だと考えてよいのですか？

T そこまではまだ確定できないと思います。可能性としては排除しませんが、まだ現地の方が発熱をしている、入院をしているという状況ですので、その方の検査結果によってはもう少し違う見解が出てくるかもしれません。

質問 でも現地で鳥には接触していないんですよね？



T 鳥に接触したという事実は確認できていないということですが、

質問 ヒトからヒトへの感染じゃないんですか？ まだわからないんですか？

T ……えー、そこはまだ確定的なことは申し上げられない、と。

質問 いま、立川の患者さん以外にかなり感染された方がいると考えるのが自然じゃないんですか？

T えー、少なくともベトナムに同行された人の 2 人のうち一人が発熱をして、まあまだ検査結果は出ておりませんが、状況から考えて H5N1 に感染した可能性はありますから、ベトナムでのエピソードが感染につながっているということは可能性としては高いと思いますけれども、その方々が国内に戻ってきてから、えー、短時間同席したとか同じ空間にいたという方にどのぐらい感染しているかということについては、いまの段階では WHO のほうも今回のベトナムの事例のウイルスがどのぐらいの感染力を持っているかということをはっきりと明かにしていませんので、そこはまだいまの段階でははっきりしたことは言えないんじゃないかと思います。

質問 発症までの期間はどれくらいかかるんですか？

T えーと、2日から7日というふうに。

質問 その間、30代の女性ですが、熱が出れば H5N1 の検査をされるということですが、現段階で検査をするということはどうですか？

T えー、症状が出る前に検査を仮にしたとして、陰性だった場合に、まだウイルスが十分増殖していないという状況も考えられますので、かえって「あと 1 日待てば感染していたかもしれない」という状況にも拘わらず 1 日早く無症状のときにやってしまったために陰性で、ご本人が安心されてしまうということもよし悪しですので、やはりそこはあの、いまのルールでは、この H5N1 の感染症が、に感染したことが疑われる状況のある方については 240 時間健康監視下に置くということですので、240 時間は健康監視下に置きつつ、その間何もなければ特段検査はしないということになります。

質問 なるほど。それと、立川の 50 代の男性と一緒にリムジンバスに乗った方についても出社見合わせ、あるいは外に出ないようにといった自粛をお願いしているということですがよろしいでしょうか？

T えー、そ、そこは……えー、この方の、えー、2メートル前後、要するに座席で言うと前 3 列後 3 列に座っていた方についてはそのような要請をしています。ただ、あのう、この方が座ったのが前のほうだったとお聞きしていますので、後ろのほうに座っておら

れる方についてはいまの段階でそこまでの必要はないだろうというふうに判断をしています。

質問 WHO のほうではまだ感染力の特定ができていないという状況の中、通常 2～3 メートルと言われていますが、そういう対応で大丈夫ですか？ まだ感染力はわからないんですよ、すごく強い感染力があるかもしれないんですよ？

T ええ、それはわかりませんが、えー……まあ、行政のほうから強くお願いするということについては、いまのエビデンスに基づいて前後 2 メートルという考え方で対応させていただくのが適当だと考えております。

質問 そういう意味でリムジンバスに同乗された方全員に何か言っておくということはないのですか？

T ええ、もちろんその、熱が出たときに速やかに医療機関に申請し、ということは要請を、指示をしておりますけれども、出社もしないでくれというまでは行っておりません。

質問 それは法律に基づいて、ということですか？

T これはですね。法律に基づいて、いずれも法律に基づいていませんので（笑）、任意の協力を求めるという段階の要請です。

質問 いまフェーズ 4 の可能性があるということですが、フェーズ 5 や 6 に移るときには具体的にはどういうふうに判断するのですか？

T フェーズ自体はですね、発生国の状況を評価したうえで WHO が宣言しますので。フェーズそのものの宣言については WHO がやります。ですから、日本国政府が WHO とは別のフェーズの宣言をするということはありませんので、いまの段階ではフェーズ 3 というふうに認識を私たちはしておりますけれども、まあしかしながらフェーズ 3 の段階でもヒトからヒトへの蔓延というリスクがあればそこには適切な対応というものをしなければなりませんので、そこでどう対応するか、フェーズ 3 の段階でどういう対応をするかということについては、先月の 6 月 10 日の段階で、すでに感染症法に基づく指定感染症に指定をしておりますので、H5 までが確定できれば入院勧告をして隔離をするという方針でもう先月からそういうふうに法の適用を変えておりますので。H5 が確定した段階で入院を勧告する、ということについてはこれ、しっかりやっていくということで、これはフェーズ 3 であれフェーズ 4 であれ対応していくということです。

質問 厚労省のホームページではフェーズ 6 になったときに通勤の停止みたいな話が出てくるということでしたが、現段階では WHO の判断を待たないとそこまでやらないとい

うことですか？

T いまの段階では、まずその、今回ベトナムで起こっている H5N1 の患者さんが 20 名ないし 30 名出ているという状況について、まだ小さなクラスターで限定をした段階での蔓延であればフェーズ 4 でありますから、まだフェーズ 6 という段階にはすぐには行かないんじゃないかという専門家の指摘もありますので、えー、いまの段階でフェーズ 6 のことを想定は、すぐにフェーズ 6 になるという想定では準備をしておりませんけれども、まず、その、ヒトからヒトの感染力がどのくらいあるのかということが WHO 等の調査に基づいてはっきりしてくるでしょうから、その段階で評価をしていきたいと考えています。

質問 WHO によると「爆発的に広がった」ときにようやくフェーズ 6 になるわけで、

T はい。

質問 それを待ってようやく通勤の制限とかをするわけですか？ 遅すぎないですか？

T まあ、ベトナムではかなりたくさんの方が感染しているという状況が伝えられておりますけれども、まだ日本では、えー、このベトナムから帰ってきた方と同行された 40 代の男性のお二方ですので、この方あるいはこの方と、この方たちをきちっとゲン (?) 治療していただくということと、このお二方と濃厚な接触を持った方々についてきちっとした健康監視下に置いていく、と。で、何か熱とかがあったということであれば速やかに入院をしていただいて、検査をして、H5N1 を確定させていく、ということをきちっと対応していくことで、いまの段階では十分蔓延を予防していくんじゃないか、予防できるんじゃないかと考えています。

質問 このあと患者が何人か出てくる可能性があると思いますが、では厚労省として独自に対策をとるようなことはぜんぜん考えていないのですか？

T もちろん、念頭に置きながら対応していかなければいけないと思いますけれども、現時点での情報を総合的に勘案した場合には、明日明後日パンデミックになる、移行するということを想定したような対応はかなり、むしろ国民の皆さんに無用のパニックを起こさせるというような逆の側面もありますので、そこは状況をよく見極めたうえで対応していくと考えております。

質問 ちなみに、いまタミフルってどれくらい備蓄が進んでいるんですか？

T いまは、目標は 2,500 万人分ですけども、現時点では 250 万人分です。政府の備蓄が 250 万人。それから流通している分ですね、3 月ぐらいでほぼシーズンのインフルエン

ザは終わっていますので、その段階で残っているのがだいたい 400～500 万人分ぐらいが残っている、と、医療機関も含めて存在していると思いますので、それも含めれば 600 万人あるいは 700 万人分ぐらいのタミフルが日本にはある、と。もしこのインフルエンザが広がった場合にも、それだけの対応能力はあるということです。

質問 今後の対策を具体的にお聞きしたいのですが。先ほどベトナム旅行社への渡航自粛要請とおっしゃいましたが、これは具体的に外務省の安全情報や、SARS のときのように中国発日本便の運休ですとか、そういうことを何かお考えなんでしょうか？

T これはいま政府部内で検討しているところです。

質問 外務省や航空会社等々に連絡をとっているということですか？

T ええ。政府部内については先ほど関係省庁の対策会議を開きまして、十分このベトナムの事例等を見極めつつ迅速に対応しようということで意見を一致させておりますので、もう少しベトナムの状況がはっきりした段階で適切に判断をしていこうと……思っております。

質問 タミフル 250 万人分ということですが、パンデミックになる可能性もゼロとは言えないわけですね。そういう場合はどうするんですか？ いま足りているんですか？

T 政府の予想ではパンデミックになれば 2,500 万人の方が医療機関に受診するということ想定をしていますので、250 万人分しかいまありませんので、やはり使い方については一定の優先順位というものも考えなければいけないというふうに、そんな時代が来るかもしれません。

質問 つまり、全員に薬が行き渡らない、と？

T はい。

質問 また、仮に通勤の制限をした場合には交通が遮断されて企業活動等に影響が出ますし、食料品や運行にも影響が出るとは思いますが、そういう対策はちゃんととれているんですか？ 可能性は十分あると思うんですが？

T えー、そうですね、えー……うー……。まあ、そこは……えー、いまの段階で何か国が食糧を備蓄するとかですね、そういう対策までは講じておりませんが、社会機能維持者の方々には十分な、そういう、流通等々ですね、仕事に支障がないような、その、手洗い・うがとか、そういったような対策は十分講じていただくよう、十分時間をかけて、いろんなルートを使って要請をしていこうと考えています。

質問 ということはフェーズ6にならないとやらないんですか？

T ……いえ、まあ、当初そのフェーズ4が宣言されてから入院勧告制度を導入するというのが政府の行動計画で、昨年11月に作った段階ではそういうふうになっておりましたけれども、いろんな状況を踏まえてフェーズ3の段階で入院勧告をするというふうに変えましたので、けっしてその、えー、政府としてはあの、WHOのフェーズに厳密にかっちりと、それだけで物事を判断していこうというふうには考えておりませんので。もちろんWHOのフェーズをよく睨みながらということではありますけれども、日本政府独自のそれを前倒しした対応ということについても十分念頭に置いてやっていきたい、対応していきたいというふうに考えています。

幹事社 よろしいでしょうか。ではそんなところで。

以上

結核感染症課 S企画調整官

---

2006年5月15日

S ……において、えーっと、H5 インフルエンザの患者が発生したとの情報を得ております。これについて申し上げますと、WHO に問い合わせましたところ、ハノイ市とホーチミン市のほうで H5 の陽性の患者さんが、ハノイ市からでは 4 名の方、そのうち 1 名の方がお亡くなりになって、疑いの患者さんが 22 名病院に来られているというふうに聞いています。それからホーチミン市においても同様に、H5 陽性の患者さんが 5 名、死亡者が 3 名、その他患者疑い数があるかどうかは不明、との情報を受けております。なおベトナム政府では患者接触化 (?) の調査を実施するとともに、他の地域に対して呼吸器感染症患者の急増がないかを調査中とのことでした。

特にこれ、ヒトーヒト感染があったかどうかについて気になる場所ですけれども、これはその調査の結果を待たないとわかりませんので、いま情報を収集、あ、調査中だということでもあります。

この情報を受けて日本政府としては緊急対策本部も総理官邸のほうの命令で本部が開催されました。さらに、えー、厚生労働省としては、えー、ベトナムより帰国した者の検疫強化ということで、全国の検疫所に本日 8 時に通知書を出しております。

さらにベトナム便が就航している成田空港および関西空港の検疫所に対して、7 月の 1 日から 3 日以内にベトナムより到着した航空機のパッセンジャーリストを全て取得し、日本人旅行客のリストを作成するように指示をいたしたところであります。

私のほうからは以上です。

幹事社 では幹事社のほうから質問させていただきます。

まず 50 才男性・東京都在住の方とのことですが、この方はどちらにお住まいの方なのか、どういうご職業なのか、どこで感染したのか、このへんはいかがでしょう。

S えーっと、私のところには東京都在住という情報誌が入っておりませんで、それ以上の情報はわかりません。

幹事社 それ以上はわからないということですか？

S はい。

幹事社 それは病院のほうからも入っていない？

S はい。

幹事社 そのへんのお話は聞いていないということですか？

S はい、聞いておりません。

幹事社 なぜ聞かないんですか？

S えーっと。

幹事社 その方の氏名とかはわかっているわけですよね？

S えー、氏名もわかっておりません。

幹事社 わかっていない？ 入院した病院、医療機関から都などを通じて厚労省のほうに情報が来ていないんですか？

S ……ああ、失礼しました。東京都のほうから連絡を受けておりまして、氏名はわかっております。ただ申し上げられません。えー、どちらに在住かは、わかりません。

幹事社 聞けていない、聞いていないということですね？

S はい、はい。

幹事社 どちらで感染したのか？

S どちらで感染したかはわかりませんが、ベトナムへの渡航歴が先ほど申し上げました6月28日から7月1日までであったという事実だけ掴んでおります。

幹事社 成田に到着したのが？

S ……うーんと、7月1日ですね。

幹事社 そこからその人はどのように異動したり病院に行ったのか、移動ルートはどうですか？

S あのう、ルートについては現在調査中であります。

幹事社 調査中。

S はい。

幹事社 すいません、患者さんの状況などのヒアリング体制はどういうふうになっているんですか？ 基礎的なことですが？

S ヒア、ヒアリングの体制、というと？

幹事社 その患者さんからどこでどういう行動をしたのか、どういうふうにかつたのか、そのあたりの細かいことをどういうふうに聞いているのですか？ 誰がどういうふうにかつているのですか？ 都のほうに聞いているんですか？

S えーと、東京都が聞くことになっています。

幹事社 東京都からすぐに厚労省に上がってくることになっているんですか？

S そうです。はい。



幹事社 それでも全く細かい話は上がってきていない、ということですか？

S はい。現在のところ上がってきておりません。

幹事社 この方が H5 だ、少なくともベトナム帰りで A 型だとわかった段階というのは何時ごろだったんですか？

S ……うーんと……

幹事社 夕方ごろでしたっけ？

S ……………東京都からは……ですね……………あ、あの、あ夕方ですね、はい。

幹事社 そしていま午前 2 時過ぎということで 8 時間経っているわけですが、そのあたりの情報収集がまだできていない？

S はい、そのへんについてはまだ情報収集できておりません。

幹事社 いま現在の患者さんの状況はいかがですか？

S ……………

幹事社 亡くなったりは？

S はい、そういった情報は入ってきておりません。先ほど申しあげました発熱とか咳とかそういったインフルエンザ症状があって、レントゲン像は肺炎の像が提出されているということで、それ以上の情報は入ってきておりません。

幹事社 最初にかかった都内の医療機関はどこですか？

S えーと、医療機関名は申しあげることにはできません。

幹事社 すでに都立の立川病院だというふうの一部報道では流れていますけれども、そういうことでよろしいですね？

S あのう、医療機関名については申しあげられません。

幹事社 なぜですか？

S 患者さんの特定につながるおそれがありますので、この場では差し控えたいと思います。

幹事社 じゃあ、その病院にかかっている他の方に感染してしまっても構わないということ？

S いや、そういうことではなくて、患者さんの特定につながるおそれがありますのでこの場では医療機関名の公表は差し控えたいと思います。

幹事社 その患者さんがその病院にかかっていろいろなところで接触した人がいると思うんですよね、

S はい。

幹事社 その接触した人に対しての注意喚起を早くしたほうがいいと思うんですけれども、そういう意味でもその病院の名前は言えない、と？

S 現段階では言えません。

幹事社 言えない、ということですね。わかりました。

質問 この男性はベトナムから帰ってきたということですが、いまベトナムでは鳥への接触のない患者さんもかなりいるという話です。まだいま N は調査中だということですが、いつごろそれはわかりますか？

S まだベトナム政府は調査中、との情報しか入っておりませんで、いつその調査結果が出るかとか、そういったことについては情報が入っておりません。

質問 いま実際に国内でも PCR 検査をしていると思いますが、その結果はいつごろ出るんですか？

S えーっと、それについても、通常ですと……あ、えー……………ああ、すいません、それについてもちょっといつ結果が出るかというのはわかりません。

質問 いま H5N1 である可能性が非常に高いという状況が言えるかと思いますが、実際にこの男性が初めに行った病院で濃厚接触者といわれる方々がいらっしゃると思うんですが、そういう方々へいまだどういった対応がとられているんですか？

S はい、あの、東京都はそうした接触者が病院にもしいらしたら、そういった方々について現在調査中だというふうに聞いております。

質問 なるほど。全くわかっていないということですか？

S 現段階では報告を受けておりません。

質問 渡航していた同行者がわからないということなんですけれども、これは会社が全く特定されていないということですか？

S ……

質問 実際に男性患者の奥さんなどからも全く話が聞けていないということですか？

S えー、そうですね。

質問 なぜ聞かないんですか？ N1 である可能性がいま非常に高い中で、全くその対策がとられていないということになると思うんですが、厚労省としてどういうふうにお考えですか？

S あのを、できるだけ早くそういう情報を都から上げてもらいたいと思っております。

質問 東京都がなかなか調べないということですね？

S そういうことじゃないと思います。おそらく調査中なんだと思います。

質問 もう 6 時間以上経っていますよね。実際に立川病院のほうをちょっと見たんですけど、それからだいぶ時間が経っていますから、その間何もわからないということは東京都の職務怠慢ということなんでしょうかね？

S あのを、理由はよくわかりません。時間もその 6 時間というのが長いのか短いのかもよくわかりませんし。いま東京都は一生懸命調査をしていると思っております。

質問 感染原因が知りたいんですが。ベトナムへ渡航されたといいますが、ハノイやホーチミンには行っているんですか？ また養鶏場などに行くような職業だったんでしょうか？

S えーっと……はい、あのを、ベトナム出張中、ハノイとホーチミンは滞在されている方の方であります。えー、どういう職業の方かはちょっとわかりません。鳥だとかに接触するような職業だったかどうかはちょっとわかりません。

質問 ヒトーヒト感染の可能性もあるわけですよね？

S その可能性は否定はできないと思います。

質問 ヒトーヒト感染だった場合、当然患者さんが成田についてからお住まいのところに行くまで多数の人が接触している可能性があるわけですよね。それを全くいまの時点で公表できないというのはかなり無責任じゃないんですか？

S ……やっ、そんなことはないと思います。

質問 そこで当然、移った可能性のある人に対してきちんと呼びかけをしないとこれ、パニックになる可能性がありますよ？

S あの、正確な情報が入手され、カチカンゲキ(?)判断がなされればそういうことも対応するかもしれませんが、現段階の情報ではいま申し上げたような、

質問 ごめんなさい、それ、いつごろわかるんですか？

S それはまだわかりません。

質問 そんなんで一般の人が納得できると思います？

S ……ちょっとあの……………

質問 少しでも国民を安心させるような情報は今の時点でないんですか？

S あの、現段階で入った情報をいま皆さんにお示しているところであります。新たな情報が入ればできるだけ国民の方により多くの情報を提供しようと思っております。

質問 いま日本人リストの作成を始めるというようなお話ですが、もちろんのことながらベトナムから日本に入ってくるのは日本人だけではないと思います。その方たちに対してはどういう対処をとるのでしょうか？

S えーっとですね……

質問 その方々がもし新型インフルエンザに感染していた場合、その方がもしホテルに泊まっていればそのホテルで感染が拡大する可能性もあると思いますが、そういう人たちにはどういう対策をとるようになっているのでしょうか？

S あのう、現段階ではこの方がヒトーヒト感染を起こすようないわゆる新型インフルエンザかどうかまだわからない段階ではあります。で、あのう、一応、あのう、成田空港と関西空港の検疫所に対しては、えー、まあ航空機、ベトナムから到着する航空機のパッセンジャーリスト全てをとにかく取得するようという指示を出しておりますので、えー、日本人旅行客のリストはもちろん作りますが、あのう、これはパッセンジャーリスト全てでありますので、日本人のみならず外国の方も対象になると思います。あのう、もし、まあ万が一この方がそうしたヒトーヒト感染を起こすような患者さんであれば、このリストを使って接触者の調査であるとか、あるいはまあ、少なくともこの乗客の方に情報提供をするつもりであり増す。

質問 ベトナム航空からパッセンジャーリストをいただくということなんですが、別の航空会社にももちろんそういう話をしているんですよね？